



カレー  
**令和の「華麗なる」幕開け！**

町教育委員会主催の町内小学校高学年を対象とした  
野外宿泊体験企画「大江GO!GO!キャンプ2019」  
が、5月11日から12日にかけて朝日少年自然の家で  
おこなわれました。夕食のカレー作りの講師は、山形  
市内でインド料理店を経営するコウシック・ウィンド  
ウ・クマルさん。本格スパイスを使用したクマルさん  
の特製カレーに、子どもたちも大喜びでした。

特 100×100  
集 ~100歳まで100パーセント健康に~

令和元年

5

No.699



1月12日に子育て支援センター「ぱれっと」でおこなわれた「だんご木飾り交流会」の一幕。梨木原・望山の老人クラブの方々も参加し、親子で参加した皆さんと一緒に折り紙で飾りを作って交流を深めました。

# 100×100

## ～100歳まで100パーセント健康に～

日本人の平均寿命が延び続ける中、末永く充実した人生を過ごすためには「長生き」に加えて「健康」であることが肝心です。要介護状態や認知症にならず、ずっと元気に自分の趣味や家族と過ごす時間を楽しむことができれば、こんなに幸せなことはありません。

住み慣れた地域で、いつまでも安心して暮らしていきたい——誰もが抱くそうした願いを、みんながお互いに支え合うことで実現していく仕組みづくりについて紹介します。

### 3分の1以上が高齢者

新聞記事やテレビのニュースで、毎日のように目にしたり耳にしたりするのが「高齢化社会」や「少子高齢化」という言葉。医療技術の進歩などによって日本人の平均寿命は延び続け、平成29年には男性で81・09歳、女性で87・26歳に達しました（厚生労働省「平成29年簡易生命表」より）。

これに伴って、高齢化率（総人口のうち65歳以上の人口が占める割合）もまた年々上昇傾向が続いており、今や日本は「超高齢社会」という言葉で表現されるようになっていきます。

本町の現状に目を向けると、平成30年4月時点の高齢化率は37・7パーセントで、県内で9番目に高い水準となっています。その後も高齢化の進行は続いており、今年1月時点では37・8パーセントに達しました。言い換えると、これは町民のおよそ2・6人に1人が65歳以上であるという計算になり、高齢者の割合がいかに高くなっているかが実感できます。

全国や県内における傾向と同じように、本町でも高齢化はこれからま

すます進行していくものと考えられています。

## 健康寿命こそ真の寿命

還暦・古希・喜寿・傘寿・米寿・卒寿・白寿と、長寿を祝う節目の年齢は数多く知られています。一つの節目を迎えたら、また次の節目を目指して、といったように、人々が昔からこうしたお祝いを生きた上で、励みにしていたということがうかがえます。

平均寿命が大きく伸長した現在、多くの方が長生きできるように。たということは喜ばしいことです。しかし近年、多くの人にとっての幸福な老後を送るための目標は「長く生きる」ことだけではなく、生きています。いつまでも幸せに過ごしているために、ぜひとも必要な条件——それは「元気であること」ではないでしょうか。そのため、健康で過ごせる期間を示す「健康寿命」という指標が提唱され、これを延ばすことが全国における福祉施策の大きな目標となっています。

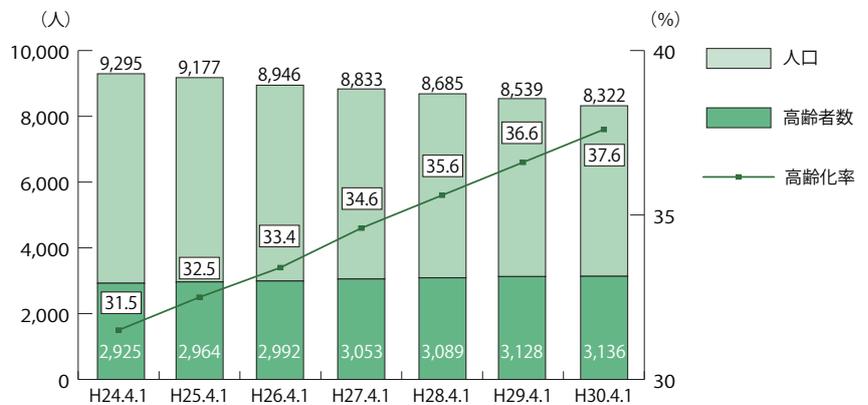
高齢化が進むとともに、体の衰えや病気などによって介護が必要な状態になる方も多くなります。平成12

年に介護保険制度がスタートしてから、本町でも要介護状態と認定される方は増加し続け、平成30年4月1日現在では、586人の方が要介護認定者となっています。介護を必要としないようにすることは、健康長寿を目指すうえで重要なポイントの一つであるといえます。

## 元気を長く保つために

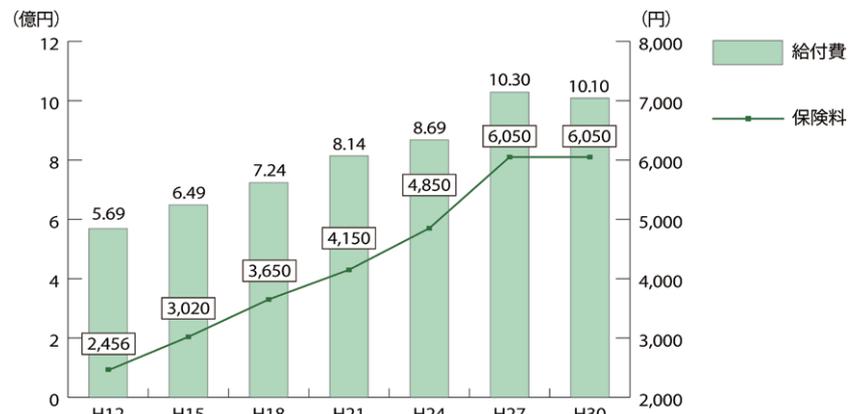
日常生活で介護が必要になった場合、要介護認定を受けることで介護保険サービスを利用することができます。介護保険で受けられるサービスには、通所介護（デイサービス）などの施設に通うタイプや訪問介護（ホームヘルパー）など自宅へ訪問してもらうタイプ、そして特別養護老人ホームなどの介護保険施設への入所などがあります。

これら介護保険サービスを提供するための給付費は、その半分ほどが皆さんからの介護保険料で賄われています。令和7年にはいわゆる「団塊の世代」が75歳を迎えることから、高齢者の割合が今後さらに増えていくと見られています。給付費がこれ以上増加すれば、その分介護保険料による負担も増してしまうことに



町の人口と高齢化率の推移

なります。介護が必要になってしまいう主な原因としては、高齢による体の衰え、転倒などによる骨折、関節の病気、脳卒中や認知症などが挙げられます。こうしたリスクを未然に防ぐことで要介護状態にならないようにする対策の一つが「介護予防」です。



町の介護保険標準給付費と介護保険料の推移

## 楽しさを分かち合って

趣味や日課、家族や友人とのお出掛けなど、生きるうえで楽しみはいつまでも手放したくないものです。そのためには、自分の足で歩き、自分の手で食べる——自分のことはなるべく自分でするということが大前

# ご近所みんなで 楽しく介護予防



▲月が丘公民館で毎週月曜日におこなわれている「いきいき百歳体操」。月が丘サロン会（老人クラブ）の会員だけでなく、地区内の皆さんが毎回広く参加されています



## Voice

月が丘サロン会  
会長

佐藤健三郎さん  
(月が丘)

昨年3月に地域包括支援センターから「いきいき百歳体操」を紹介していただき、当時の会長の松田東一さん（月が丘）が中心となって地区の皆さんに声を掛けたのが始まりです。10月に体力測定があったので、4月からまずは半年間やってみようということになり、その結果参加者全員の体力が向上していたので、その後も毎週十数人が集まって続けます。椅子の準備や片づけも、皆さんが率先して自主的にやっています。

1人ではなかなか続かない体操も、みんなと一緒にやれば続けられますし、何より、こうして毎週みんなで顔を合わせることがあるということが素晴らしいことだと思っています。

提となります。介護予防は、いくつになっても「自分のことを自分でする」ための取り組みであるということもできます。

具体的には、毎日の食事をおいしく味わうために歯を大切にすると、足腰の衰えを防ぐために適度な運動を続ける、といったことが当てはまります。そしてもう一つ重要なのが、コミュニケーションを続けること。例えば地域の活動に参加したり、友人とお茶を飲みながら会話したりすることも、脳を活性化させ認知症を

防ぐことにつながる立派な介護予防です。そのために、同じ地域や趣味を通じて高齢者が集い、一緒に楽しむことが効果的であると考えられています。

通いの場づくりの手段として、今注目されている取り組みの一つが、みんなのできる簡単な体操。その名も「いきいき百歳体操」です。

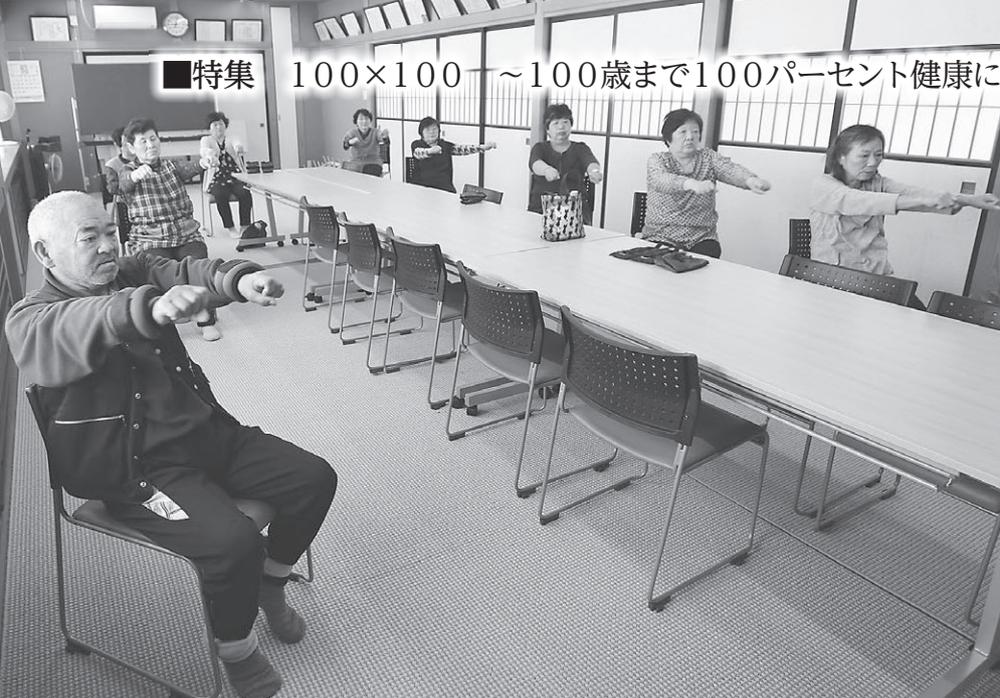
## 広がる近所の通いの場

「いきいき百歳体操」は、介護予防に役立てようと高知県高知市で開発された体操です。現在、都道府県の垣根を越えて全国に広がりを見せています。

「いきいき百歳体操」の特徴は、椅子に腰かけたままゆっくりとした動きでおこなうことで、誰でも簡単にできるうえに、急激な血圧の上昇を防ぎつつ筋肉へ効果的に刺激を与えられるということです。

町の地域包括支援センターでは、高齢者の通いの場づくりの一環としてこの「いきいき百歳体操」を町内各地区で紹介し、実施を希望する地区に体操用のDVDを貸し出しています。

■特集 100×100 ～100歳まで100パーセント健康に～



月が丘と上北山の両地区では、昨年度から地区民の皆さんが自主的に公民館に集まり、DVDを見ながら「いきいき百歳体操」を毎週実施し続けています。

地域住民の皆さんが集まって体操を継続するという取り組みは、体や

心の健康づくりを促進すると同時に、一緒に一つのことに取り組み仲間づくりができるという効果をもたらします。さらに、地域の絆が広がり深まることで、災害などのいざという時の助け合いにもつながることが期待されます。

▲上北山寿会では、毎週木曜日に「いきいき百歳体操」をおこなっているほか、月に一度「歌声喫茶」も実施しています



Voice

上北山寿会  
会長

林正春さん  
(上北山)

上北山寿会では、今年の2月から上北山公民館で「いきいき百歳体操」を実施しています。ゆっくりとした動きで40分間おこなう体操なので、はじめのうちは長く感じられましたが、毎週やっているうちにみんなだんだんと慣れてきたようです。DVDを見れば1人でもできるように思いがちなのですが、やっぱりみんなでやるからこそ続けられるのだと思います。

参加している会員の皆さんは、高齢になっても身のまわりのことは自分でしたいという気持ちが強いです。健康なまま100歳まで生きるためにも、長く続けることが力になると思うので、今後も続けていきたいですね。

幸せな時をいつまでも

高齢者の通いの場づくりの試みは、他の方面でも進められています。町の社会福祉協議会で取り組んでいる「みんなの茶の間」事業では、体操のほかに往年の「歌声喫茶」を再現し、演奏に合わせて懐かしい名曲をみんなで歌うことで楽しい時間を共に過ごすという活動を推進しています。昨年12月にふれあい会館で「みんなの茶の間普及啓発フェア」が開催された後、一部の地区の公民館などで実施され、さらに他の地区にもその動きが広がっています。

「はじめてみたい!」  
と思ったら

地域包括支援センター  
(健康福祉課内)  
☎(84)1495まで

ご希望の地区を訪問して「いきいき百歳体操」の効果を伝える説明会をおこないます。また、体操を始める際は体力測定(開始時と6カ月後)などのお手伝いのほか、分からないことについての相談も受けします。お気軽にご相談ください。



「いきいき百歳体操」も「みんなの茶の間」も、住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすための、きっかけの一つに過ぎません。「地域の自主的な取り組み」というと堅苦しく感じられるかもしれませんが、地区の集まりやご近所でのお茶飲み話の中からでも新しい「通いの場」のアイデアが生まれてくるかもしれません。それが、健康長寿の実現につながる一番の力だといえます。

みんなで100歳まで健康に、100パーセント元気に笑顔で過ごせるように、今からでも声を掛け合ってみませんか。



▲（写真左から）区長会の鈴木俊雄副会長、松田栄一会長、松田健一副会長

## 1 ■地域と行政の架け橋に ～区長委嘱状交付式～

町内各地区の代表者を務めていただく59人の区長の皆さんへの委嘱状交付式が、4月10日に中央公民館で開かれました。

式では永年勤続区長へ感謝状が贈呈され、終了後に区長会の役員を選出もおこなわれました。区長会長には、昨年度に引き続き9区区長の松田栄一さんが就任。副会長には藤田区長の鈴木俊雄さん、望山区長の小林勇吉さん、貫見区長の松田健一さんが選ばれました。

## 2 ■決意新たに防災に当たる ～渡邊新消防団長就任～

町消防団で約33年間にわたって消防活動に従事し、平成27年4月から4年間団長を務められた鈴木直喜さん（月が丘）が、今年3月をもって団長を退任されました。

新たな団長には、昨年まで副団長を務めた渡邊厚さん（塩野平）が就任。4月1日に渡邊町長から辞令を受け取った渡邊新団長は「町民の生命と財産を守るため、火災だけでなくあらゆる災害に対応できるよう、団員一丸となってがんばってまいります」と、意気込みを話していました。



▲4月から団長として消防団を率い、町の消防・防災活動に尽力されている渡邊厚さん



▲消防団長として4年間、陣頭に立って消防活動の指揮に当たられた鈴木直喜さん



## 3 ■大切な作物を守るため ～鳥獣被害対策実施隊委嘱状交付～

町の鳥獣被害対策実施隊の委嘱状交付式が、4月11日におこなわれました。今年度は32の方が委嘱され、代表として町猟友会会長の安孫子行雄さん（13区）、副会長の佐竹久さん（藤田）に渡邊町長から委嘱状が手渡されました。

鳥獣被害対策実施隊は、野生動物などによる食害から農作物を守るため、捕獲や被害防止策の普及啓発などをおこないます。近年急増中のイノシシなどによる被害に対し、その活動の効果が期待されます。

## 4 ■太陽と木の温もりに包まれて ～新規就農者住宅内覧会～

町の新規就農者支援事業の一つとして十八才地区に建設された新規就農者用住宅の内覧会が、大江町型住宅販売会の主催により4月20日に開催されました。この住宅は町産の西山杉をふんだんに利用した大江町型住宅で、太陽光を多く取り入れる構造や自然落雪などの工夫がなされています。

この日は地元の皆さんをはじめたくさんの方が訪れ、「木の香りがして、広々としていて良いね」などと感想を語り合っていました。





▲全団員による威風堂々の分列行進

# 春季 消防演習

町と町消防団、消防署大江分署による春季消防演習が、4月21日におこなわれました。この日は桜が満開となった左沢小学校グラウンドで消防操法などが実施された後、内町横町通りにて一斉放水と分列行進が披露されました。沿道には家族連れなど多くの皆さんが詰めかけ、団員たちの堂々とした行進に見入っていました。



▲自動車ポンプ操法



▲小型ポンプ操法



▲幼年消防クラブ員による放水



▲人員・姿勢・服装の点検



▲一斉放水

## 平成30年度 消防関係表彰



### 消防庁長官表彰

- ◎永年勤続功労章／古口修
- ◎永年勤続退団者／安食幸治、佐藤和弘、松田宗一、柏倉清徳、竹田信勝

### 山形県知事表彰

- ◎永年勤続退団者／安食幸治、佐藤和弘
- ◎特別功労章／関根修、庄司信也
- ◎金条章／第3分団第2部
- ◎功労章／兼子貴行、村上勇、佐藤勇一
- ◎功績章／菊地哲、白田和彦、高橋優一、吉野克一、柏倉修
- ◎精錬章／菊地茂、安孫子博司、伊藤真一、佐藤寿薫、林正行

### 日本消防協会会長表彰

- ◎功績章／林善昭

### 山形県消防協会会長表彰

- ◎優良章／高野文弥、柏倉浩治、

### 山形県消防協会西村山支部長表彰

- ◎竿頭綬／第4分団自動車部
- ◎優良団員／北本一考、菊地祐貴、上田惇史、伊藤直彦、菊地祥太、佐藤研、清野洋輔、鈴木俊郎、桜庭学、菊地勇人、阿部太一、大泉秀一、林利憲、安藤均、富樫俊介、前田司

### 大江町長表彰

- ◎優良団員／清水悠、松田佳祐、白田篤志、伊藤光章、片岡大輝、菊地育心、鈴木健太郎、鈴木俊彦、黒川源太、小國優介、小林克志、荒木健信、庄司樹

### 大江町長感謝状

- ◎内助の功／白田優子、大谷由佳、村上香代子、吉野美紀子

### 大江町消防団長表彰

- ◎優良機関／第2分団第5部、第3分団第2部

- 菊地洋幸、佐藤勇輔、後藤純一郎、柏倉智史
- ◎永年勤続25年／柏倉生一、柏倉修
- ◎永年勤続20年／石川洋光、堀浩哉、小野毅、柏倉則夫

- ◎永年勤続15年／山家雄志、櫻井鉄平、鈴木勝己、菊地良平、笠原英司、菊地政輝、佐藤研、清野洋輔、渡邊真洋、大泉保紀、大泉秀一

# 令和の大江



▲暖かな日差しの中、菜の花やタンポポの咲く道を散歩するにじいろ保育園の園児たち



▲5月1日、テルメ柏陵健康温泉館にて先着限定で「令和」記念品がプレゼントされました

5月1日、元号が「平成」から「令和」へと変わりました。その前後、4月下旬から5月上旬にかけては大型連休となり、町内各所で新元号にちなんだイベントや、地域の神社の祭礼などもおこなわれ、大いににぎわいました。

自然も地域の営みも、例年と大きくは変わらないかもしれませんが、「令和」に変わったばかりの町の風景は、皆さんの目にどのように映ったでしょうか。





▲市の沢熊野神社神輿



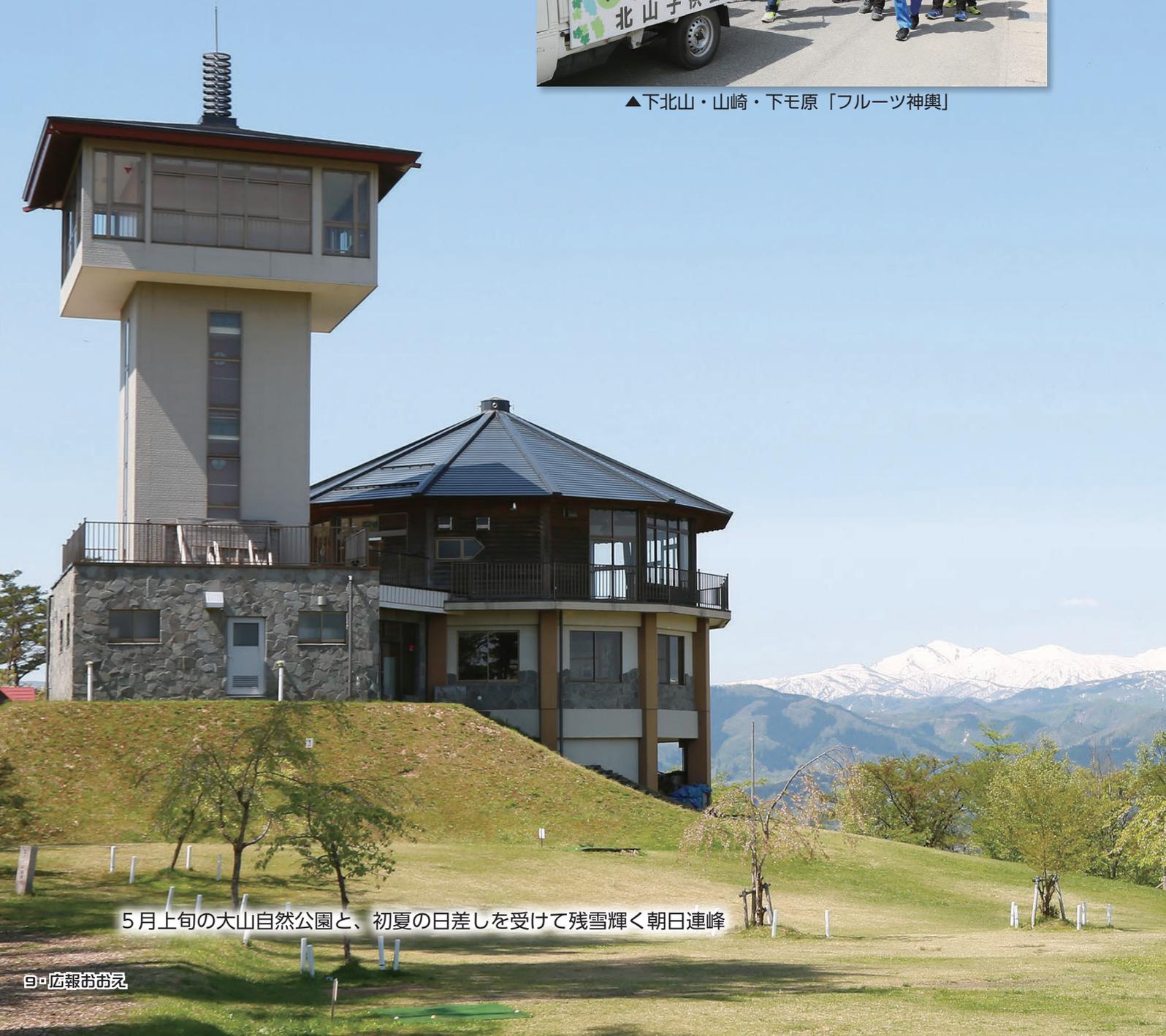
▲小見熊野神社神輿



▲らふらんず大江前で披露された、市の沢「ぶち合わせ太鼓」



▲下北山・山崎・下モ原「フルーツ神輿」



5月上旬の大山自然公園と、初夏の日差しを受けて残雪輝く朝日連峰



## 4/7 いち早い行動で命を救う

町の野球スポーツ少年団・大江レッドタイガースの心肺蘇生法講習会が、4月7日に中央公民館で実施されました。この講習会は、チームの児童や保護者を対象に、急病を発症した人や大ケガをした人が出た際の適切な救命処置を学ぶために開かれたものです。

講習会では消防署大江分署員と町の女性消防団員の協力により、児童と保護者が心臓マッサージや人工呼吸、AED（自動体外式除細動器）の操作などを実際に体験。心臓マッサージの力加減などを具体的に教わりながら実践していました。



## 4/8 憧れの学校生活スタート!

多くの人が人生の新しいスタートを切る新年度が始まり、町内では4月8日に小中学校の入学式がおこなわれました。このうち、本郷東小学校では男女合わせて24人の児童が入学。新1年生を迎え、全校生徒は105人となりました。

6年生が掲げる花のアーチをくぐって入場した新入生は、佐竹伸一校長から一人ひとり名前を呼ばれると元気な声で返事をしました。その後、2年生が歓迎の言葉と花束を新入生に贈り、さらには音楽に合わせて軽快なダンスを披露。緊張していた新入生も、目を輝かせて見入っていました。



## 4/9 無事故のために一致協力

町交通安全対策協議会による交通安全街頭指導がスタートした4月9日、町の交通安全祈願祭が左沢八幡神社で開かれました。祈願祭では、6,492人の町民の皆さんが署名した「交通安全宣誓署名簿」が町交通安全連絡協議会の鈴木正清会長（十八才）の手によって奉納され、渡邊町長ほか町内各団体の代表者などが玉串を捧げました。

例年、4月は交通量の増加などによって交通事故が発生しやすくなっていることから、交通安全母の会による児童の登下校の見守りなど、交通安全関係団体により各種活動が実施されています。



## 4/13 書の道の第一歩

今年度の「ぶくらすカレッジ」の講座の一つ、「少年少女書道教室」の開講式が、4月13日に中央公民館で開かれました。町内の小学生が仲間たちと一緒に書道の上達を目指すこの教室は、今年度77人の子どもたちが受講。指導員と推進員の皆さんの協力のもと、これから1年間、37回にわたって開催されます。

開講式終了後、さっそく第1回目の教室が開かれました。初めて書道を学ぶ3年生の児童は、書道道具の名前や置き方などの基本を教わり、緊張した面持ちで筆を動かしていました。



### 4/26 豊かな香りとまろやかな味わい

町誕生60周年記念として町観光物産協会（菊地正憲会長・1区）と町地酒推進会（木村圭一委員長・6区）が企画を進めてきた地酒「大江錦」の「純米大吟醸酒」が完成。4月26日に町観光物産協会懇親会の中で発表されました。

この純米大吟醸酒は、町産の大吟醸用好適米「雪女神」を原料として千代寿虎屋株式会社が醸造したもので、試飲した出席者は「香りが良くて飲みやすい」「瑠璃色の瓶もきれい」と話していました。純米大吟醸酒は、新元号が始まった5月1日から町内各酒販店で販売されています。



### 4/27～29 地元の声援を受け力走！

春の県内各地を駆け抜ける第64回山形県縦断駅伝競走大会が、4月27日から29日にかけて開かれました。本町からは清野大地さん（堂屋敷）、菊地春紀さん（深沢出身）、渡邊哲也さん（9区）、大沼翼さん（美郷）、大泉真尋さん（小漆川）、菊地道登さん（梨木原）が寒河江西村山チームの選手としてエントリーされました。

このうち、大泉さんが5区（大山～鶴岡）で見事区間新記録を達成。2日目には大沼さん、清野さんが区間1位のタイムをマークするなど、本町の選手が声援の中で大活躍を見せました。



### 3/29 日本一くんと一緒に記念撮影！

町のスペシャルサポーター「日本一くん」を描いた顔出し看板が、JR左沢駅前とテルメ柏陵健康温泉館前に登場しました。この看板は、町の特産品を生かした認定商品「おおえブランド」を広く知っていただくこと、町商工会のおおえブランド推進機構が中心となって設置したものです。

看板の顔出し穴は、日本一くんを乗せて最上川を行く舟の漕ぎ手と、日本一くんが温泉から見上げた夜空に打ち上がる花火の2種類。親しみやすいキャラクターによって、より多くの方へのPR効果が期待されます。



### 4/27 駅前商業施設オープン！

JR左沢駅前町有地にドラッグヤマザワ左沢店の店舗が完成し、4月27日に開店しました。同店は駅前町有地利活用のための町民検討会議や町民アンケートの結果を踏まえて出店が決定。昨年11月から工事がおこなわれていました。

この日は朝から開店を待つ多くの方が店舗前に並び、長蛇の列ができるにぎわいとなりました。同店の松井武史店長は「地域の皆さんの要望を生かすため、食品なども多く取りそろえました。今後、地域の活動にも協力しながら、地域密着型の店舗にしていきたいです」と話していました。

# 町長 Column

「令和」という年号が始まった。明治、大正、昭和、平成、令和の5つの時代「明治は遠くなりにけり」とは申せ、明治生まれであった父母を持つ者には、考えようではあろうが、「明治はそんなに遠い昔ではない」、とも思いたい。「令和」に関わる膨大なニュース、拾いきれないほどの祝賀など、時代が変わる大きなうねりを実感する5月の入りとなった。新しい「令和」の時代にも、「平和」を望む強い気持ちで真底・心底に流れている、と読み取れるニュースが強く印象に残った。「平和ほけ」などとは言っておれない、今日の「平和」に酔っぱらってはいけない、明治、大正、昭和の平和でなかった時代を忘れてはいけない……、平和はどこかのどなたかがつくってくれるのか……、うーん、人と人、人と国、国と国とがお互いに「平和を分かち支え合っピースシェアリング」、夢が春山を駆け巡った。

雨降りの風情溢れる文化的景観の町中を、恋人同士お二人が「相合い傘」で、「人と人が1本の傘を分かち持つアンブレラシェアリング」、なんとも美しい風景ではある。もうすぐ梅雨、気まぐれ天気でいつ何とき「犬と猫」が天から降ってくるような土砂降りになるやもしれない、「相合い傘」で凌げるだろうか、ひよっとして「カブダレ」同然かもしれない。さて「日本国」は雨が降ったら、どんな傘をさすのであろうか、折り畳みのポケットブルなかわいい傘か、台風時にも耐えうるような骨太の強靱な傘であろうか、「相合い傘」で乗り切るか、自立自前のデザインの傘は……、さあーて。

今日は5月5日の子どもの日、巨理町からの友人と7年ぶりの山菜取り、雲一つない紺碧の空、遠目に白雪の山々、萌葱色とはこのことかな、「ギボシ・もみじ笠・くわだい・あざみ・こしあぶら・たらのめ・のびる・わらび・うど・あさつき……」、友人曰く、一網打尽の山菜取りは「山菜盗り」だ、「人と自然のネーチャルシェアリング」で少量多種の収穫、自然の中にまるで透明人間のように溶け込んだ平和な時間、友人との歩き語り、いい汗をかかせていただきました。固いネジを回す工具のスパナは、ネジ山に合わせて自由自在に自分を回している、新しい時代には「スパナのような自在変容」が大切だ、と静かに語った友人から夕方「無事着いた」との電話があった。友だち力をありがと。

大江町長 渡邊 兵吾

## 地域おこし協力隊通信

No.52



「やまさあーべ」をより知っていただくきっかけづくりとして3月23日(土)に「やまさあーべの春マルシェ」を開催しました。今回はブルースのライブ演奏、バルーンアート、アクセサリー作り、動物たちとのふれあいなど、飲んで、食べて、体験して♪ 大人も子どもも1日中楽しめるイベントとなりました。

当日は気温が下がり、雪がちらついていましたが、お子さん連れのファミリーを中心に約180名のお客様が来てくださり、大いに盛り上がりました。また、今年度も秋ごろにイベントを開催したいと考えています♪

地域おこし協力隊 村中 亮竜



▲寒い中、多くの方にお越しいただきました

### ● 短歌 ●

椿咲き友の庭園飾り立て歩く皆さん足止めにつけり 松田 靄

辻が花纏ふ雛も飾られて児を守りる母の瞳よ 安藤 桂花

友亡くし心に開いた傷口は埋める術なく涙あふるる 長岡かづ子

なごり雪山菜莢の花を覆いおり平成最後の雪となりしか 佐竹磨砂湖

堰普請道路清掃肥料撒き退職しても仕事は尽きず 山家 重之

久々に逢いし友とのおしゃべりは会話でこぼこまた聞き返す 菊地つねよ

春うらら池に水切りはね渡る昼寝の蛙婚ひありしと 佐竹 興鼓

新聞も雑誌も読めず不便なりおくやみ欄を拡大鏡で見る 斎藤 徳治

### ● 俳句 ●

早朝に起きてびつくり春の雪 松田 靄

賑わいを求める初市過疎の街 鴨田富士夫

日本晴れ大合唱の黄水仙 阿部 一風

老兵は静かに去りて春うらら 柳川 二郎

わにの児の二度目を祝ふ雛の間 安藤 桂花

パソコンを若手に聞きて四月尽 山家 重之

選別の遺品満載春めける 熊谷 勉

令和へと繋ぐ架け橋春の虹 舟山 三男

燕来て梁に落着く間の勝負 伊藤 啓泉

## 吟遊浪漫

ぎんゆうろまん

※このコーナーに掲載ご希望の方は、毎月20日(必着)まで役場総務課に作品をお寄せください。



**Youthful**  
★ トーク ★

東京都出身の鹿さんは、子どものころから自宅の家庭菜園で野菜の世話などをするのが大好きだったといいます。高校卒業後、新庄市にある県立農業大学校(現在の県立農林大学校)に進学し、同級生の勧めなどもあって「OSINの会」の見学会などに参加。卒業後に本町で就農を目指すことを決めました。

「実際の農作業をやってみると、一つひとつの作業に必要な物や細かい段取りがあって、初めは覚えるのが大変でした。自分で収穫したものを味わった時には、『何とかできたなあ』と嬉しさがこみ上げてきますね」

現在、新規就農者として独立して2年目となった鹿さん。スモモ、ブドウ、ブロッコリーなどのほか、啓翁桜の栽培にも挑戦しています。

「農業だけでなく、自分の趣味も目いっぱい楽しんでいるような方にあこがれますね。まずは自分で農作物をうまく作れるようになって、そして経営を軌道に乗せられるようにがんばりたいです」

鹿 直輝さん (23歳・山崎)

自分で育てる喜びをいつまでも

シリーズ企画

月刊 **仲間とエンジョイ!**

No.25

町内でスポーツや文化活動などを楽しんでいる皆さんをご紹介します。

**最上川舟唄保存会**  
会長：石川博資さん(葛沢)

最上川舟唄保存会は、本町発祥で日本を代表する民謡「最上川舟唄」を正しく継承・普及していくために結成されました。正調最上川舟唄全国大会の開催をはじめ、各地の舟唄碑の管理、町内外での舟唄と踊りの披露などをおこなっています。また、毎月3日・4日を「民謡の日」とし、民謡を楽しむ集いも開いています。

「最上川舟唄は、世界に誇れる文化です。町民の皆さんにも改めてこの舟唄の魅力に触れていただき、これからさらに盛り上げていく気運をつくっていきたいです」と語る石川会長。ふるさとの文化の素晴らしさを、一緒に守り伝えてくださる会員を募集しています。



▲最上川舟唄保存会の皆さん



▲今年1月に宮城県亘理町で開かれた「えんころ節全国大会」で舟唄と踊りを披露しました

# お知らせ

## Information

### 大江町優良景観形成補助事業を ご利用ください

優良な景観を形成し保全するため、屋根の指定色への塗り替えや、コンクリートブロック塀から板塀・生垣への変更、コンクリートブロック塀の撤去、土蔵などの土壁・漆喰の補修や復元に対し補助金を交付します。

◆対象事業／①屋根の塗り替え(赤や青などから、黒または濃灰色への塗り替え)、②板塀の設置または修繕、③生垣の設置、④ブロック塀の撤去、⑤土蔵などの補修または復元

◆交付対象者／町内にある住宅や店舗などの所有者、町内にあるコンクリートブロック塀または板塀および生垣、土蔵などの所有者  
◆補助金の額と限度額／①経費の4分の1(限度額10万円)、②③④経費の2分の1(限度額30万円)、④経費の4分の1(限度額10万円)、⑤経費の2分の1(限度額50万円)  
※交付決定前に事業着手すると補助対象外となりますのでご注意ください。

※交付条件の詳細については、町ホームページをご覧ください。  
☎政策推進課政策推進係  
☎(62)2118

### 「はかり」の定期検査のお知らせ

取引や証明などに使用する「はかり」は、2年に1回の定期検査が義務付けられています。本町の集合検査日は次のとおりですので、忘れずに受検してください。

◆日時／6月17日(月)10時～14時半  
◆会場／ふれあい会館

※対象の「はかり」を事前に把握するため、文書や電話などによる調査をおこなっていますのでご協力をお願いいたします。

※これまで定期検査を受けていない場合であっても、対象となる可能性があります。  
☎政策推進課起業推進係  
☎(62)2139

### 2019年工業統計調査を 実施します

2019年工業統計調査は、従業者4人以上の全ての製造事業所を対象に、令和元年6月1日時点で実施します。この調査は、我が国にお

## 第36回 正調最上川舟唄全国大会



漆原栄美子さん

今大会では一般の競技に加え、宮城県亘理町えんころ節や、栃木県佐野市越名舟唄などの民謡披露のほか、特別ゲストとしてNHK紅白歌合戦にも出場した「福田こうへい」さんの民謡のお師匠様「漆原栄美子」さんが出演します。

町内団体からは、大江男声コーラスの最上川舟唄男声合唱、大江中学校生徒による最上川舟唄混声四部合唱、酔郷夢舞による舟唄のヒップホップダンスなどさまざまなアトラクションを実施する予定です。ぜひご家族そろってご来場ください。

◆日時／6月23日(日)8時50分から  
◆会場／ふれあい会館  
◆チケット料金／前売券500円  
当日券800円

※前売券は大会前日の6月22日(土)までテルメ柏陵健康温泉館、交流ステーション、ふれあい会館でお買い求めいただけます。

☎第36回正調最上川舟唄全国大会事務局  
(政策推進課内) ☎(62)2139

### 「東京おおえ会総会」開催 新規会員募集中

東京おおえ会は、関東地方在住の大江町出身者などが集う会です。毎年6月、約100名の会員が集まり、ふるさとを語る有意義な時間を過ごしています。今年も次のとおり総会を開催します。新規会員も募集中ですので、ぜひご参加ください。  
◆日時／6月2日(日)10時半から  
◆会場／上野グリーンパーク(東京都上野公園内)

☎東京おおえ会 会長・板垣

☎080(5434)1226

☎(62)2187

☎総務課情報システム係

る工業の実態を明らかにすることを目的とする政府の重要な調査で、統計法に基づく報告義務のある基幹統計調査です。調査の結果は中小企業施策や地域振興など、国および地域行政施策のための基礎資料として活用されます。  
調査票に記入いただいた内容は、統計作成の目的以外(税の資料などに)に使用することは絶対ありません。調査の趣旨・必要性をご理解いただき、ご回答をよろしくお願います。

## 町制施行60周年記念 「真打ち競演」公開収録の実施について

町とNHK山形放送局では、大江町町制施行60周年を記念して、ラジオ番組「真打ち競演」の公開収録を実施します。この番組は、ベテラン芸人による、落語・漫才・漫談の至芸をお楽しみいただくものです。観覧をご希望の方は、次の要領でお申し込みください。

- ◆日時/6月21日(金) 開場17時半 開演18時 終演予定20時
- ◆会場/ふれあい会館 ◆主催/大江町、NHK山形放送局
- ◆出演/<1本目>テツandトモ、ねづっち、橘家圓太郎  
<2本目>春風こうた・ふくた、ぴろき、柳家権太楼  
<司会>野口葵衣アナウンサー (NHK山形放送局)
- ◆観覧申込/入場無料ですが、事前のお申し込みが必要です。下図のよう  
に郵便往復はがきに郵便番号・住所・名前・電話番号を  
明記しお申し込みください。



テツandトモ

ねづっち

※応募多数の際は抽選の上、当選者には入場整理券(1枚で2人入場可、1歳以上のお子様から人数に含む)を、落選の方には落選通知を6月6日(木)に発送する予定です。  
※記入に不備があった場合は無効です。  
※インターネットなどでの転売を目的としたお申し込みは固くお断りします。  
※天候などにより出演者変更や公演中止となる場合があります。中止の場合、振替公演はありませんので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

【往信用表面】

〒990-1101  
山形県西村山郡  
大江町大字左沢  
882-1  
大江町役場総務課  
「真打ち競演」  
観覧係

【返信用裏面】

何も  
書かないで  
ください。

【返信用表面】

□□□-□□□□  
ご自分の  
①郵便番号  
②住所  
③名前

【往信用裏面】

ご自分の  
①郵便番号  
②住所  
③名前  
④電話番号

- ◆申込あて先/総務課「真打ち競演」観覧係 ◆募集締切/5月30日(木)必着
- ◆放送予定/8月3日(土)、24日(土) いずれも10時5分~10時55分<ラジオ第1(全国)・国際放送>
- ☎総務課情報システム係 ☎(62)2187 (平日8時半~17時)
- NHK山形放送局 ☎023(625)9516 (平日9時半~19時) <http://nhk.jp/yamagata>



### 観光PR活動に参加しませんか 新規会員を募集しています!

5月21日(火)から大山自然公園ユリまつりが開催されます。町観光ボランティアガイドの会では、この期間中観光案内所を設け、来場者に町の観光パンフレットを配っています。私たちと一緒に、楽しく町の観光PR活動をやってみませんか。

☎大江町観光ボランティアガイドの会事務局  
(まちなか交流館内・地域おこし協力隊・須藤)  
☎(84)7770

### 編集 後記

(伊藤智治)

トが例年以上に鮮やかに目に焼き付きました。

満開に咲き誇っていた桜の花びら  
かのようにあつという間に散っていく  
ました。「令和」の幕開けを報じるニ  
ユースで新時代への期待感を募らせつ  
つ、同時に「もう平成ではない」とい  
う寂寥感も湧いてくる今日このごろで  
す。桜に代わって町の風景を彩るのは、  
芽吹き始めた新緑と、輝くような菜の  
花色。元号の変わり目ということも  
あってか、町内の色彩のコントラストが例年以上に鮮やかに目に焼き付きました。

日本の未来のために、  
とても大切な  
調査があります。

調査へのご協力をよろしくお願いいたします。  
◎調査員が外観等から事業所の活動状態などを確認させていただきます。  
◎新たに把握した事業所には調査票を配布させていただきます。



### 経済センサス-基礎調査

経済センサス  
<https://www.stat.go.jp/data/e-census/index.html>

総務省統計局からのお知らせです。

総務省統計局・山形県・大江町では、「経済センサス-基礎調査」を実施します。

この調査は、我が国のすべての産業分野における事業所の活動状態などの基本的構造を全国および地域別に明らかにするとともに、事業所・企業を対象とする各種統計調査の母集団情報を整備することを目的としています。

調査は、調査員が全国すべての事業所の活動状態を実地に確認し、新たに把握した事業所など一部の事業所には調査票を配布することによりおこなわれます。調査へのご理解・ご回答をよろしくお願いいたします。

☎総務課情報システム係 ☎(62)2187

# 思い出の まいぞうひん My蔵品

No.43

皆さんの心に残る思い出の品を、それにまつわるエピソードとともにご紹介します。



▲荒川さんの祖父手作りの「謡本」。歌詞と調子が記されています



▲謡本を載せる台も手作り。収納しやすい組み立て式になっています



▲「私も若いころに謡の稽古に通っていましたが」と話す荒川さん

結婚式というと昔は自宅でおこなっていたもので、祝言の「謡」がつきものでした。いわゆる「三三九度」の杯を交わすのは奥座敷だったため、「おくいわい」と呼んでいたものです。謡が得意だった父は、その差配を務めることがよくありました。父が使っていた謡の教科書「謡本」は、私の祖父が手作りしたものです。

私が子どものころ、結婚式があると新郎新婦にお酒を注ぐ役を任されることがあり、その席で父が謡うのをよく聞いていました。今では結婚式も披露宴も立派な式場で催されるようになったので、家庭でおこなうこともほとんどなくなりましたが、祖父が作り父も愛用した「謡本」は、100年以上経った今でもしっかりと読める状態で残っています。

(藤田 荒川啓一)

★皆さんの思い出の詰まった「宝物」はありませんか？  
懐かしい写真、長年愛用している道具、旅先で購入した記念の品など、なんでも結構です。  
総務課情報システム係 ☎(62)2187まで、ぜひお知らせください。

## 戸籍のまど

3月21日～4月20日受付分

### お誕生おめでとう

区名	氏名	性別	父母名
三合田	長尾 悠永	男	紀史・悠佳里
中沢口	庄司 すず	女	樹・桃子
みなみ	菊地 美羽	女	誠・秀美

### ご冥福を祈ります

区名	氏名	年齢
9区	伊藤 その	(92)
小漆川	松田 専一郎	(85)
5区	金山 美代	(103)
藤田	白田 貢子	(92)
柳川平	大場 秀紀	(54)
諏訪原	鈴木マサ子	(84)
10区	細谷しげ子	(90)
沢口	黒川嘉左エ門	(72)
3区	林 ちよ江	(103)
9区	稲村 藤子	(98)
12区	鈴木 準一	(92)



### 人口と世帯(前月比)

町の人口	8,157人(-15)
男	4,076人(-9)
女	4,081人(-6)
世帯数	2,912戸(-1)

令和元年5月1日現在

※掲載を希望しない場合は、届け出の際にお申し出ください。